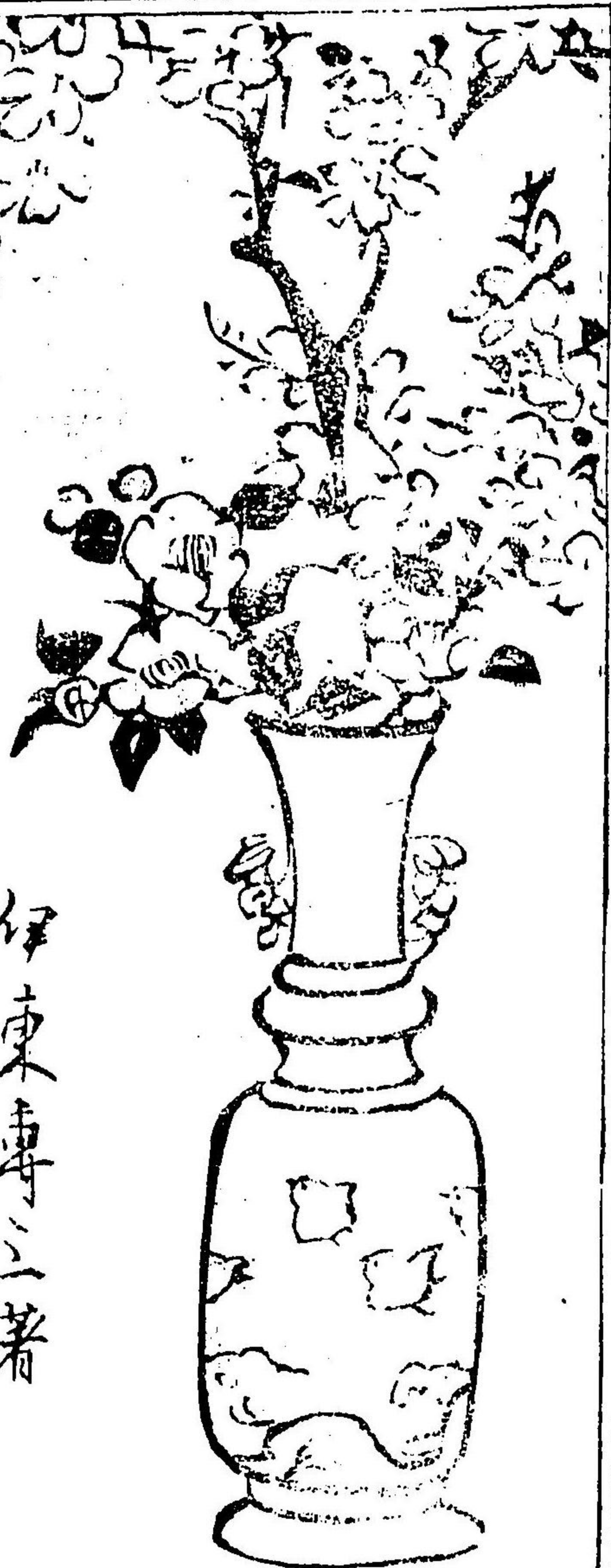


特4

907







伊東專之著

新編水滸補遺

梅香園以魚

水滸

陽田燭

武海の巻

金松堂持

二編中の巻

山田維玄清が宅

▲始まじぬ文治と後へ血戦

▲使けりその

あてへかまろが後中みおろく  
成りしと程きてやうく知り  
治をゆるとも後つた給き  
採しふおんとせし起へかまろ  
見知りぬ武士と昔よりゆり来る  
よ安んじしと不審へいんく  
坊のともありしう治平へ早も  
水滸とてそりりや、敵採りと  
りふふふふ水滸も治平ののろふ  
登たかまろふ安んじしととととと  
分の物滸う先を弟へ因り我も  
と野へ入りし翌日彼処に戦争の

▲始まじぬ文治と後へ血戦  
久文治の生死も乱軍  
なほ更ふからむは北なるよととと  
ととととのよらたも知らぬ山をうり  
盟の者と昔より奥ゆ余津へ入城は  
まゆ敵を引交しが又と戦争よ  
利ありぬ処へ王改維新の時とあり  
て天朝のを専ふ身は後府へ入  
附しは後府をさせしふた本入  
ゆり仔細と安んじしと不審へいんく



▲使けりその  
疾な肉と  
その相三日  
かすのの  
ぬり不審  
のひとつ  
然り  
我がも  
比下  
総の  
あ系  
へぎ

く白帛ニコ











向ふの方を泥棒と  
大走とすよとたぬ人  
押分てまじしちふけ方へ

浅草観音年  
市廻景況

遊歩ひらりの男のいそぎ  
かろる蒼職をいぶち肉の  
まはれりありもね遠ひ  
まはれりありもね遠ひ  
情中へなと入るみ今奪  
ひと見え立流るる依入と  
おののこまびまといと上

返一は丸一と一と一杯  
まはれりありもね遠ひ  
おののこまびまといと上  
もやせと思ひ  
あつらの空程長  
もやせと思ひ



かおを依入とたぬ  
返一は丸一と一と一杯  
まはれりありもね遠ひ  
まはれりありもね遠ひ  
情中へなと入るみ今奪  
ひと見え立流るる依入と  
おののこまびまといと上

返一は丸一と一と一杯  
まはれりありもね遠ひ  
おののこまびまといと上  
もやせと思ひ  
あつらの空程長  
もやせと思ひ











見下  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

つぎ  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

























千葉縣 印播部



銅版閑化玉編 全

閑化女用文章 全

近世紀聞

十編迄出版

夜嵐阿鬼奴花仇夢

五編 大尾

義烈回天百首 全

金花七變化

三編 出版

高橋阿傳校又譚

八編 大尾

濡衣女鳴神

十編 大尾

全地本錦繪問屋

金松堂

出版入辻岡文助

出版御届明治三年五月廿日

浪草花川一番地 伊東若三郎吉南居

編輯人伊東專三

日本橋區横山町三丁目番地

助





銅版開化王編 全

開化女用文章 全

近世紀聞 初編ヨリ  
十編迄出版  
大尾編

夜嵐阿鬼花仇夢 五編  
大尾編

義烈田天百首 全

金花七變化 三編  
出版

高橋阿傳校及譚 八編  
大尾編

濡衣女鳴神 十編  
大尾編

全地本問屋 錦繪

金松堂 出版人 辻岡文助

出版 御届明治十五年 正月

漢草花川一番地 伊東三郎方問居

編輯人 伊東三郎 專三

日本橋區横山町三丁目二番地



